

簡易スロープで対応するので、固定スロープは設置しないと答弁。今後、その考えは変わらないのか。

町長 建物の構造及び敷地の状況など総合的判断した結果、固定式スロープを設置することは困難であると結論に達し、考えに変わりはない。

問 簡易スロープの使用要請は。

町長 導入後、1件。

問 固定のスロープを設置しない理由は。

町長 建物の構造及び敷地の状況など総合的に判断した結果、大がかりな固定のスロープを増設することは困難であると判断したことが主な理由。

問 将来構想は、どう考えるか。

町長 現状では、10年くらいは何か。建替える時は、バリアフリー化。

どこと組むかは、まだまだ分からない。今後は、皆さんと議論の中で進めていきたい。また、持続的にこの火葬場を維持管理ができるかも今後の課題。



齋賀 弘孝

・幌延中学校区小中一貫校建設
・基本設計業務公募型プロポーザルについて
・8月27日の大雨による被害と町の対応について

問 どのように周知したか。

町長 町ホームページほかかねてからの専門誌等。

問 各社の順番付けはどう決定されたのか。

町長 抽選箱に規制されたくじを投入し引いて決めた。

問 なぜ一次審査後点数順に各社を並べ替えないのか。

町長 順番が一番最初の適正な方法で決めた。

問 D社北電総合設計は、幌延と深い関係にあると思うか。

町長 9名の選定委員の中で各社プレゼンを行い、基本構想からなるコンセプト、イメージ、それに一番近かったのがD社北電総合設計だった。点数が一番高かった。結果的に私たちが基本構想を作った時のコンセプトと今回の基本設計のコンセプトが一致している。

問 ほかに3社の技術提案書を公表できないか。

町長 各社提案者に帰属するもので法人情報であるため、公表できない。

問 計画的な住民説明会はどう開催していくのか。

町長 委託業者も交えながら年3回くらい計画し、ワークショップ型とし、近隣住民に不安不信を与えないように思っている。

問 校歌、校章はどうするか。

町長 現在ロードマップ、工程表を作っている。校歌校章を作るのは来年度になる。

問 令和5年8月8日委員会で専門知識がないと基本構想がまとまらないので、業務委託させて欲しいと、お話があった。どこに委託したか。

町長 同じく北電総合設計だ。

問 8月27日の大雨の際、災害対策本部不要と判断した理由は。

町長 今後の気象情報と降雨量から判断した。

問 問寒別川、上問寒水位観測において水防団待機を超過したがどう行動されたか。

町長 目視による現地調査の結果を基に、水防団待機は不要とし指示も出していない。

問 職員の現地調査の情報収集から前向きな対応できなかったのか。

町長 今回のことを糧にして、対策をきちんとしていく対策本部を作り、災害に遭われた方の対策をどのようにに早急にしていくか今後考える。今回の教訓で前に進められると、少しは皆さんに安心してもらえらる。

問 店内に水が侵入してきた人も話していた。誰も来てくれないと。一声かければ気分も和らぐのではないか。安全安心の幌延に進んでほしい。

町長 了解した。我々としては、連絡の取り合いが薄かったのかという反省点でもある。

9月17日

第5回幌延町議会

定例会

第5回幌延町定例会は9月17日(火)に開会され、

4名の一般質問のほか、報告3件、同意1件、議案4件、意見書1件を原案どおり可決し、18日に閉会した。

行政報告

文部科学大臣の幌延深地层研究センター視察について。

教育行政報告

学校教育について
社会教育について

認定第1号、認定第7号

幌延町一般会計ほか6会計の令和5年度決算について、決算審査特別委員会に付託。

報告第1号

令和5年度決算に基づく

幌延町財政健全化判断比率の報告について

報告第2号

令和5年度決算に基づく